

クリーンシティ推進ポスター・標語募集事業

[596]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0101	実施計画	
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	資源循環型社会の啓発	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民 市内小学校4年生	ごみの減量、リサイクルについて関心を高められるよう、市内小学校4年生を対象として啓発ポスター、標語を募集する。 市長賞・市議会議長賞・市教育委員会教育長賞及び入賞作品10点、計26点を選び、優秀作品を市役所ロビー等に展示し啓発する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	事業スケジュール 6月 作品募集の通知(各小学校宛) 10月 作品の募集締め切り・審査 12月~1月 表彰、作品展示
	ごみの減量、リサイクル等について関心を持つ児童を増やすとともに、作品展示等により市民に啓発する。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	ポスター応募者数	人	816	847	750	587
	標語応募者数	人	493	646	750	637
成果指標	ポスターを提出した割合	%	98.7	98.5	90	72.2
	標語を提出した割合	%	59.6	75.1	90	78.3
事業費 計			94	98	102	90
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		94	98	102

H30年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 低下</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況) H29実績と比較すると、ポスター応募者は26.3ポイント減少し、標語応募者は3.2ポイント増加している。</p> <p>(原因) 学校運営の妨げにならない範囲で協力を依頼したが、応募していただけない小学校があった。</p>
--------	--	---

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

生ごみ処理補助事業

[597]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0201	実施計画
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	02	減量化の推進	担当	市民生活部 環境課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民 生ごみ堆肥化等に取り組む市民活動団体	生ごみ処理機等購入に対する補助 尾張旭市生ごみ処理機等購入補助金交付要綱に基づき、生ごみ堆肥化容器、生ごみ発酵用密閉容器、電動生ごみ処理機を購入した市民に、購入金額の半分(限度額あり)を補助する。 生ごみ堆肥化等への支援 市内のボランティア団体(2団体)に、生ごみ堆肥化に関する業務を委託する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	【主な業務内容】 ・市内保育園における給食の調理くずの堆肥化と、園児との菜園を通じた共同農作業及び食育支援(保育課との協働事業) ・市民向け生ごみ減量講習会 30年度から、成果指標の算定式の内容を変更 まちづくりアンケートの間24-10 まちづくりアンケートの間26-10、11、12、13
	市民との協働により、生ごみを減らすための取り組みが幅広く行われている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	補助件数	件	37	23	80	30
	PRの種類数	種類	4	5	4	5
成果指標	生ごみを出さないように、また減らすように工夫をしている市民の割合(27年度より指標変更)	%	30.0	29.5	40.0	74.3
事業費 計			579	559	700	608
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	579	559	700

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)前年度実績と比較すると、「生ごみを出さない、減らすよう工夫している市民割合」が44.8ポイント増加している。 (原因)アンケート設問の見直しにより、使いキリや食べキリなど食品ロスに関する取り組みも含めたため、数値が大幅に増加した。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

資源ごみ等処理事業

[598]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0301	実施計画
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	03	リサイクルの推進	担当	市民生活部 環境課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民 市民が排出する資源ごみ 収集運搬、処理業者	市で収集する資源ごみの種類 空きびん、空きかん、ペットボトル、紙パック、乾電池、プラスチック製容器包装、古紙、古着類、スプレー缶類、小型家電 資源ごみの回収 <地域集積所> ・空きかん、空きびん、古紙、古着類：月2回 ・プラスチック製容器包装：週1回 ・スプレー缶類：月1回
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<拠点回収(市役所、公民館、集会所等)> ペットボトル、紙パック、乾電池 <主要公共施設(回収ボックス)> 小型家電 <リサイクル広場> 上記資源ごみのほか、食用廃油、白色トレイ、白色発泡スチロール、エコキャップ、スプレー缶、カセットボンベの持ち込み可
	資源ごみが適切に収集、中間処理(分別、圧縮、梱包等)され、リサイクルが進められている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	資源ごみの分別数	種	9	9	9	9	
成果指標	資源回収量(市収集分)	t	2,750	2,681	3,600	2,657	
	資源化率	%	29.0	28.3	31.0	27.5	
事業費 計			56,400	62,845	65,075	63,796	
指 標・事業費	財源内訳	ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他	千円	18,777	22,231	19,001	21,184
		オ 一般		37,623	40,614	46,074	42,612

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) H29実績と比較し、資源回収量(市収集分)は24t、資源化率は0.7ポイント減少している。 (原因) 古紙の回収量が大きく減っている。近年、新聞や書籍離れによる紙類の流通量の減少が影響していると考えられる。
	【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	ごみ収集作業員及び保有車両の適正化に関する計画に基づき、委託化の検討を行います。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
ごみ収集作業員及び保有車両の適正化に関する計画に基づき、粗大ごみ収集業務を委託化しました。			

資源ごみ回収団体活動奨励事業

[601]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0303	実施計画
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	03	リサイクルの推進	担当	市民生活部 環境課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民 回収活動団体 回収業者	手段(事務事業の内容、やり方、手順)	市民で組織する営利を目的としない団体(子ども会、自治会等)が資源ごみを回収した量に応じて、市が奨励金を交付する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	回収品目 新聞紙・チラシ、雑誌、雑がみ、段ボール、アルミ缶、スチール缶、空きビン、古着・布類、牛乳パック	奨励金の額 資源ごみ1kgにつき3円(自主回収の場合は4円)	交付要件 ・資源回収団体として事前登録した団体が回収した資源ごみを、資源回収業者として登録した業者が回収する。 ・環境保全活動、地域貢献活動を実施する。
	団体回収を奨励することにより、資源ごみの回収量(率)が高まっている。			

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	奨励金支給額	千円	8,957	8,588	10,500	7,933
成果指標	回収量	kg	2,967,459	2,848,039	3,935,000	2,631,752
	資源ごみ回収量に占める団体回収率	%	51.9	51.5	50	50.2
事業費 計			8,957	8,588	9,500	7,933
指 標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		8,957	8,588	9,500

H30年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 低下</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況) H29実績と比べ、回収量は216,287kg、資源ごみ回収量に占める団体回収率は1.3ポイント減少している。</p> <p>(原因) 古紙の回収量が大きく減っている。近年、新聞や書籍離れによる紙類の流通量の減少が影響していると考えられる。</p>
--------	--	---

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	古紙・古着の自主回収を行う自治会等を増やすことで、市民の分別意識の向上を図ります。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
広報による募集や既に実施している団体に継続案内を行っているが、新規申込はなく、団体廃止や統合によって実施団体数が減少した。			

塵芥収集事業

[602]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0501	実施計画
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	05	ごみ処理体制の整備	担当	市民生活部 環境課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民 市の収集員 ごみ収集事業者	尾張旭市一般廃棄物処理計画に基づき、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ及び資源ごみの収集・運搬を行う。 収集運搬 ・収集員等による市直営 ・民間事業者への業務委託(可燃ごみは市域の約7割、不燃ごみ、粗大ごみ、スプレー缶、古紙・古着及びプラスチック製容器包装は市内全域)処理 ・可燃、不燃、粗大ごみ 晴丘センター ・資源ごみ 中間処理場
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
市内で出されるごみが適正に収集・運搬されている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	不適ごみ対応件数 (連絡により職員で回収した不適ごみの件数)	件	378	286	480	271	
	粗大ごみ予約受付個数(26年度より指標変更) 予約受付業者報告より集計	個	7,739	8,120	8,000	9,090	
成果指標	市で収集しているごみの量	トン	17,338	17,186	17,483	17,041	
事業費 計			131,195	136,700	141,934	137,844	
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		6,079	6,455	6,672	7,569
		オ 一般		125,116	130,245	135,262	130,275

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) H29実績と比較し、市で収集するごみの量は0.8%向上している。 (原因) 市民や事業者との連携による、ごみの減量や資源化の取り組みにより、ごみ排出量が減少したものと考えられる。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	燃えるごみの排出量に応じた費用負担については、ごみ処理基本計画に基づき、引き続き検討します。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
燃えるごみの排出量に応じた費用負担について、廃棄物減量等推進審議会からの答申を受け、平成31年3月に「燃えるごみの有料化は行わない」として方針決定した。			

尾張東部衛生組合負担金

[604]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0503	実施計画	
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	05	ごみ処理体制の整備	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	尾張東部衛生組合	尾張東部衛生組合の概要 瀬戸市、尾張旭市、長久手市で組織された一部事務組合で、廃棄物処理施設の建設及び維持管理並びにこれらに附帯する事務、北丘スポーツ公園の維持管理に関する事務を共同処理している。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	市の業務 組合の運営にかかる負担金を支弁するほか、各種連絡調整や会議への出席等を行う。 ・組合議会 年4回 ・副市長会議・課長会議 年3回
	負担金支出等により、尾張東部衛生組合の廃棄物処理施設が適切に維持管理されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	負担金額	千円	249,477	249,858	252,184	276,996
成果指標						
事業費 計			249,477	249,858	286,995	276,996
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	249,477	249,858	286,995

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	---	--

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

清掃車両維持管理事業

[606]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0504	実施計画
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	簡易評価	総合戦略
基本事業	05	ごみ処理体制の整備	担当	市民生活部 環境課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民 清掃車両	<ul style="list-style-type: none"> 現在13台の車両(ディーゼル車11台・天然ガス車1台・ガソリン車1台・)で収集作業を行っており、車検や修繕を行い、これらの維持管理を行う。 車検時期の管理方法 車両内の運転席に車検更新時期を明記したラベルを貼付 事務所及び労務職員詰所の壁面に「清掃車両車検整備日程表」を掲出 労務職員の運転免許証の確認も毎月行う。 清掃車両の買換購入については、走行距離や収集作業員の安全性を考慮し、10年経過、10万Kmを基準とし、老朽化の程度を勘案し判断する。 また、策定したごみ収集運搬体制の将来計画に基づき、直営と民間委託の状況を踏まえ計画的に車両の更新及び減車を行う。また、購入する際には環境負荷が少なく燃費効率に優れた環境対応型車両を購入する。 <p>平成28年度：廃車、買換えなし 平成29年度：廃車、買換えなし 平成30年度：ダンプ(16号車) 廃車(売却) 予定</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> ごみ収集運搬体制に併せた適切な車両台数を保有し車両の維持管理経費が削減されている。 保有する清掃車両が常に正常かつ安全に走行できるよう適切に管理されている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	清掃車両の維持管理台数	台	13	13	13	12
	清掃車両の修理件数(車検整備含む)	件	57	39	28	45
成果指標		千円	253	0	253	264
		件	0	0		0
事業費 計			7,408	6,813	6,832	7,862
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	7,408	6,813	6,832

H30年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 未設定</p> <p>【成果向上余地】 未設定</p>
--------	--

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

環境事業センター維持管理事業

[607]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0505	実施計画	
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	05	ごみ処理体制の整備	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	環境事業センター	<p><環境事業センター> 事務所(事務室・食堂・会議室等)、再利用品庫(リサイクル広場)、駐車場(公用車・来場者)、労務職員詰所、倉庫等</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>環境事業センター及び施設内で運営しているリサイクル広場を、良好な状態で機能させるために、センターの備品・施設の維持管理に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> センターの閉庁日及び夜間の警備を業務委託している。 センターの定期清掃・軽清掃・ガラス清掃を業務委託している。 センター事務所棟の床を清掃するため、モップを借上げている。 備品や施設に不備がある時は、修繕している。
	環境事業センターの運営に支障の無いよう、また施設来場者に不快な印象を与えないよう、施設が常に良好な状態に保たれている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	維持管理委託件数(借上含む)	件	5	6	6	6
	修繕件数	件	8	2	5	4
成果指標	施設維持管理上の重大な不具合・トラブル件数	件	0	0	0	0
事業費 計			3,918	2,971	3,171	2,971
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	3,918	2,971	3,171

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	<p>(状況) 成果指標については、H29年度実績、H30年度実績ともに0件のままで、変化はない。</p> <p>(原因) 職員による適切な維持管理に必要な修繕や警備保障委託、消防設備保守点検、清掃委託等を行っており、重大な不都合やトラブルが発生しなかったものと思われる。</p>
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	施設の管理については、公共施設等総合管理計画に基づき、適切に行います。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

リサイクル広場運営事業

[612]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0902	実施計画	
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民利用者	環境事業センター内において年末年始(12月29日~翌年1月3日)を除いて土・日曜日・祝日も含めて毎日開設している。(開設時間は、午前9時~午後4時)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源ごみと食用廃油、白色トレイ・発砲スチロール、小型家電等を分別して、受け入れを行っている。 ・自転車や子ども用品のうち再利用可能なものを受領・展示し、希望者に無料で提供する。 ・リサイクル広場内で、「あげます情報、ください情報」を掲示(市のホームページも併せて情報提供) ・展示コーナーを設け、資源ごみがどのようにリサイクルされているのかわかるポスターやサンプルの展示、DVDの再生による周知を行う。 ・リサイクル広場の業務の一部をシルバー人材センターや障害者団体に委託し、高齢者や障害者の就労支援を行っている。 ・臨時職員(月~金曜日勤務1名)が、リユース品の整理、展示、提供事務を実施
	資源が正しく出されているとともにリサイクル・リユースが促進されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	開設日数	日	359	359		360
成果指標	リサイクル広場におけるリサイクル・リユース件数	件	41,182	40,347	33,000	37,145
	リサイクル広場に持ち込まれた資源ごみ量	kg	455,950	481,202	450,000	466,343
事業費 計			7,240	7,106	7,402	7,028
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	7,240	7,106	7,402

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)リサイクル・リユース件数はH29実績とH30実績を比較すると7.9%の低下、持ち込まれた資源ごみ量は3.1%の低下となっているが、目標値は達成している。 (原因)リサイクル広場を年末(12/29)に臨時開設するなどの取組による開設日数や入場者数の増加を考えれば、これらの実績は頭打ちの状態になっているものと考えられる。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	リユース品の有償化について、引き続き検討します。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	×
有償化は、実施しませんでした。			

一般廃棄物処理基本計画推進事業

[1218]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0903	実施計画
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 環境課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	一般廃棄物処理計画 廃棄物減量等推進審議会 循環型社会推進会議	計画の概要 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項の規定により、市町村は一般廃棄物処理計画(基本計画、実施計画)を定めることが義務付けられている。基本計画では3つの基本方針、11の基本施策、44の具体的な取り組みを掲げており、それらに基づきごみの適正処理を進めている。現計画期間は平成26年度から平成35年度までで、中間年次である令和元年度に計画の見直しを行う。また、年度ごとに策定する実施計画では、年間ごみ排出量の見込みやごみ減量施策、ごみの収集・運搬・処理計画などについて公表している。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	計画の推進体制 市民等で構成される「廃棄物減量等推進審議会」と「循環型社会推進会議」との協働により、ごみの適正処理に向けた取り組みの推進及び計画の進行管理を行う。
	一般廃棄物処理計画を定め、その計画に沿った事業が円滑に進められている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	市民への情報提供の回数	回	1	1	1	1	
	成果指標	廃棄物処理に対する取り組み項目数		42	44	43	43
指標・事業費	事業費 計			807	3,964	500	481
	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
オ 一般	807	3,964		500	481		

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 廃棄物処理に対する取り組み項目数は、昨年度と比べ1項目減少している。 (原因) 一般廃棄物処理基本計画に基づき、「事業系ごみの実態を把握するため事業者アンケートを実施」を終了したため。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	99-0309	実施計画	
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	平成21年度以降99-0404及び99-0405を合わせて統合再任用職員1名、調査・報告事務、財務会計処理事務等担当 <文書処理> 文書の收受 文書の発送 <職員管理> 臨時職員の雇用・給与等管理・時間外勤務・出張の集計・報告 職員互助会事務 <事業計画・報告> 予算・決算 EMS・行政評価等 <その他の事務処理> 財務会計処理、印刷製本(申請書等) <物品管理> かご等集積所用物品、ごみ収集作業用物品、地域清掃用物品、不法投棄防止物品、リサイクル広場用物品等

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標						
成果指標						
事業費 計			4,718	3,824	4,075	3,066
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	4,718	3,824	4,075

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	---	--

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

ごみ減量庶務事務

[1166]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業 コード	99-0310	実施 計画	
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	評価対象外	総合 戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>< 文書処理 > ...100時間 文書の收受(60時間) 文書の発送(20時間) 照会・依頼等の調査・報告(30時間) < 事業計画・報告 > ...300時間 予算・決算(100時間) 一般廃棄物処理事業調査(200時間) < 財務会計処理 > ...100時間 < 印刷製本 > ...370時間 ごみ分別関係冊子作成(210時間) ごみ分別チラシ作成(20時間) 事業概要作成(110時間) ホームページ作成(30時間) < 物品管理(啓発物品等) > ...20時間 < 各種会議等に関する庶務事業 > ...50時間 合計 940時間</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標							
成果指標							
事業費 計			2,642	2,015	1,758	1,692	
指 標・事業費	財源内訳	ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		357	364		519
		オ 一般	千円	2,285	1,651	1,758	1,173

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定	
	【成果指標の状況】 未設定	
	【成果向上余地】 未設定	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定